

### 1 PLAN(目的・概要)

その他経常業

政策名	交流・環境		責任者	港営部 関連事業担当課長
施策名	うるおいと魅力のある港湾空間の形成		連絡先	052-654-7836
事務事業名	名古屋港ポートビルの管理・運営		連携課	
目的	対象(誰・何を)	広く一般の利用者	事業期間	平成18年度～継続
	意図(どういう状態にしたいか)	海事に関する知識の普及により、海事思想の高揚を図ります。		
概要	名古屋港ポートビル及び南極観測船ふじの良好な維持管理と高質な利用者サービスを提供します。		根拠法令等	指定管理者による公の施設の管理に関する条例 名古屋港ポートビル条例
活動内容	指定管理者に対して、定例的な会議、モニタリングを通して、緊密な情報交換、必要な指導・助言を行っています。		実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
			関連シート	

### 2 DO(実施)

コスト	単位	28年度	29年度	30年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	101,401	86,727	61,240	83,123	事業費には、本組合が実施した施設の工事費を計上しています。なお、平成30年度は、補修工事の減に伴い、事業費が減少しました。
人件費	千円	4,569	6,360	4,702	5,210	
合計	千円	105,970	93,087	65,942	88,333	

### 3 CHECK(検証)

指標名		28年度	29年度	30年度	中間目標 30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
定例の会議・モニタリング回数(回) (単年度管理型)	目標	24	24	24	24	毎年度、定例会12回、モニタリング12回することを想定し、目標設定	
	実績	24	24	24			
	事業進捗状況(30年度)		目標値を上回る 目標値をやや下回る		目標値どおり 目標値を下回る		
ニュースリリース数(件) (単年度管理型)	目標	17	17	17	17	イベントや企画等のニュースリリースを発行した件数。直近3か年の平均値	
	実績	12	13	11			
	事業進捗状況(30年度)		目標値を上回る 目標値をやや下回る		目標値どおり 目標値を下回る		
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	モニタリング回数は目標どおり実施しました。 ニュースリリース数は、目標値を下回りましたが、ホームページやフェイスブックを活用してタイムリーな情報提供に努めるとともに、南極観測船ふじの集客に向けた取組として、名古屋港水族館南館の南極ホール(南極生物を展示)において、ふじの概要を映像で紹介しています。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○ 海事に関する知識の普及は、本組合として必要と考えます。					
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○ また、広く一般の利用を対象としており、ニーズに応えています。					
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○ 名古屋港ポートビル内の名古屋海洋博物館において、特別展「遥かなる海を越えて ～帆船時代の大冒険～」を開催したほか、南極観測船ふじにおいて、「ふじ」の航海や南極大陸の旅を体験できるシアターなど、海事に関する施設の展示を通じた、海への親しみと知識の普及に貢献しています。					
	期待どおりの成果が得られているか?	○ ニュースリリース数は、目標値を下回りましたが、ホームページやフェイスブックを活用してタイムリーな情報提供に努めるとともに、南極観測船ふじの集客に向けた取組として、名古屋港水族館南館の南極ホール(南極生物を展示)において、ふじの概要を映像で紹介しています。					
効率性	最小のコストとなっているか?	○ 施設の維持補修は優先順位を定め、最小のコストで最大の効果が得られるよう努めています。					

### 4 ACTION(取組)

課題	令和元年度以降の取組
更に多くの人々に利用してもらえるよう、話題提供等の利用促進の取組を強化する必要があります。	モニタリング等を強化し、施設の良好な維持管理に努めるとともに、ニュースリリースやホームページ等によりタイムリーに情報提供するよう、指定管理者に対し指導・助言を行います。